



KCIPH

川崎市健康安全研究所 Kawasaki City Institute for Public Health



科学と技術の力で、 市民の健康と安全を守る。

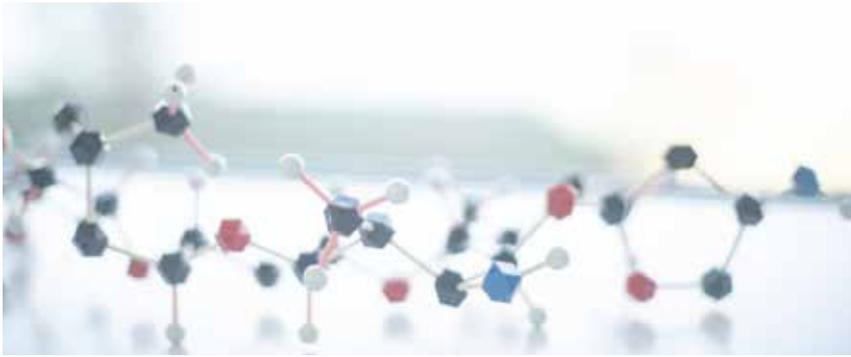
▶ Who we are ?

川崎市健康安全研究所とは？

川崎市健康安全研究所は、法に基づいて設置された市民の健康と安全を守る使命を担う、地方衛生研究所の一つです。食品や水の安全性を確保するための詳細な試験検査を行い、また、感染症や食中毒の原因を迅速に特定し、市民の健康を守ります。さらに、新たな検査方法や健康危機対策の研究を推進し、地域の健康課題に対する先進的な解決策を提供しています。

市内医療機関や市民の皆さまに最新の情報を提供し、予防策の啓発を努めています。また、医療機関や関係職員に最新の知識や技術を提供する研修を行い、プロフェッショナルな支援を行っています。これらの活動を通じて、市民の健康と安全を支え、地域社会の未来を守るために全力を尽くしています。





日々の探求が、未来の健康を支える。

▶ Message / 所長 ごあいさつ

川崎市健康安全研究所は、法に基づいて全国の都道府県や指定都市等に80か所以上設置されている地方衛生研究所の一つであり、地域における科学的かつ技術的な中核機関としての役割を担う研究施設です。地域の公衆衛生向上及び増進のために、その専門性を活かして、試験検査や調査研究を行うとともに、感染症等の情報収集、解析及び発信、そして人材育成のための研修指導を実施しながら、さまざまな健康危機事象に対応し、市民の皆様の健康で安全な日々の暮らしを支えています。

今後のさらなる発展に向けて、他の研究機関や医療機関、保健所等と連携し、地域の皆様が安心して暮らせる未来に貢献したいと考えております。



所長 三崎 貴子
Takako Misaki

▶ Our history / あゆみ

1952

昭和27年1月
川崎区砂子1丁目川崎市中央保健所2階に
「川崎市衛生試験所」を設置

1970

昭和45年6月
川崎区大島5丁目に移転し、
名称を「川崎市衛生研究所」
に変更



2009

● 新型インフルエンザ流行
市内初の検体を検出

2011

● 東日本大震災発生
放射性物質などの検査を実施



2013

平成25年3月
川崎区殿町3丁目(キングスカイフ
ロント地区)川崎生命科学・環境研
究センター(LiSE)2階に移転し、名称を
「川崎市健康安全研究所」に変更

Message / 参与 ごあいさつ

私は川崎市衛生研究所が川崎市健康安全研究所に生まれ変わることを機に所長を拝命、2024年3月に所長を退任し、現在は参与となっております。在任中は新型コロナウイルス感染症を筆頭に、大小さまざまな健康にかかわる事例が発生しましたが、所職員・川崎市、そして市民の皆様のご協力ご理解を頂きながら、その多くは何とか解決・収束の方向に向かい、あわせて調査研究の能力も向上してきました。当研究所が、川崎市民のみならず国、さらには世界の人の健康に寄与する研究所として、さらにさらに発展していくことを期待しています。



岡部 信彦
Nobuhiko Okabe

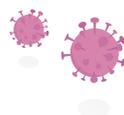
2024

●川崎市政100周年



2019

●原因不明疾患(のちの新型コロナウイルス)が武漢で確認
市民に情報発信



2014

●新規ノロウイルス GII.17変異株発見
健康安全研究所が新種の変異株を発見



Philosophy / 理念

科学と技術の力で人々の健康で安全な暮らしを守り、常に進化し続ける研究所

- 専門家の集団として、科学的根拠となる試験検査や調査研究を行います。
- 最新の情報を収集してサーベイランス体制を強化し、健康危機に備えます。
- 古きを尊び新しきを知り、次世代に伝え、公衆衛生の発展に寄与します。



Toward the Future

川崎市健康安全研究所 4つの使命

～市民の健康で安全な暮らしを支えます～

調査研究

公衆衛生の向上を目指し、検査方法の開発や調査研究に取り組み、その成果を発表しています。

情報発信

公衆衛生情報を国・世界レベルで積極的に収集・解析し、迅速かつ的確に医療関係者や市民に提供しています。



1

試験検査

食品、水、家庭用品の検査を行います。食中毒や感染症発生時に緊急に対応し、原因特定により被害の拡大を防ぐための対応を支援します。

2



3



研修指導

科学技術的機関として、研修会の開催や試験法の指導を通じ職員及び参加者の技術向上に繋げています。また、学生向けの科学体験イベントも実施しています。

4

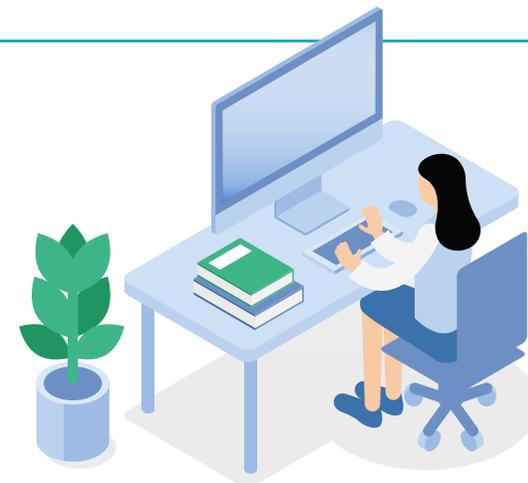


総務担当

研究所の円滑な運営を支えています。

総務担当では、企画調整担当や感染症情報センターが調査研究や研修業務などを円滑に行うため、また、理化学担当及び微生物担当の検査部門が試験検査や調査研究を行うために必要な試薬等の物品の調達に関する業務、検査に必要な機器類の整備や保守点検の実施に関する業務、研究所の機能を正常に保つために必要な施設の維持管理に関する業務、これらに必要な予算の確保や執行管理、研究所職員の人事管理などを行っています。

総務担当がこうした業務を幅広く担うことで、研究所の円滑な運営を支えています。



企画調整担当

最先端の検査と科学研究を、確実なサポートで繋がめます。

企画調整担当の主な業務は、①研究支援業務 ②検査の信頼性確保 ③所の情報発信やイベントの企画です。

- ① 研究計画や報告のとりまとめ、研究課題を評価・承認するための研究評価委員会や倫理審査委員会の運営、外部研究費の管理を行っています。
- ② 食品衛生検査や病原体検査などの重要な検査について、内部及び外部精度管理、内部点検や監査を行い、検査の正確さや妥当性を確認し、検査の信頼性を確保しています。
- ③ ホームページで所の情報を発信し、市民に試験検査実績をわかりやすく公開しています。また、教育機関や団体の方を対象に、施設見学や体験イベントを通じて、最先端研究を支える研究所ツアーや観察・実験により科学への理解を深めるプログラムを提供しています。



理化学担当

検査の実績等について
詳しくはこちら
川崎市ホームページ
(理化学検査情報)



食品、家庭用品、水などの試験検査を通じ、 最先端の技術で市民の健康と安全を守ります。

検査内容に応じて「食品」「残留農薬・放射能」「水質・環境」の3つの担当に分かれています。

食品添加物検査、農産物の残留農薬検査や放射性物質検査などの食品の検査は、市内流通食品が法令の基準に適合しているかを確認するための検査が中心で、食の安全性を確保する上で重要な役割を担っています。

また、乳幼児用衣類や接着剤などの家庭用品、飲料水や浴槽水などについても、各種法令で定められた基準に適合しているか検査を行っています。

公衆衛生の発展のための調査研究

国や他自治体の衛生研究所とも連携し、新たな試験法の開発や改良等、科学技術の発展に尽力しています。

緊急時の検査体制の整備

有毒植物・有毒魚介類等による食中毒や毒物混入事件など、化学物質が原因の健康被害が発生した際に、迅速かつ安全に原因物質の特定ができるよう、最新の分析機器や有害物質を安全に扱うことができる設備を導入しています。



食品の安全を守る

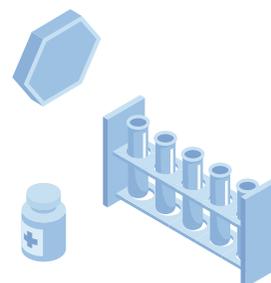
- 食品添加物検査
- 残留農薬検査
- 自然毒検査
- 特定原材料検査
- 動物用医薬品検査
- 放射線物質検査
- 遺伝子組換え食品検査

家庭用品の安全を守る

- 家庭用品検査

水の安全を守る

- 飲料水検査
- プール水・浴槽水検査



微生物担当

検査の実績等について
詳しくはこちら
川崎市ホームページ
(微生物検査情報)



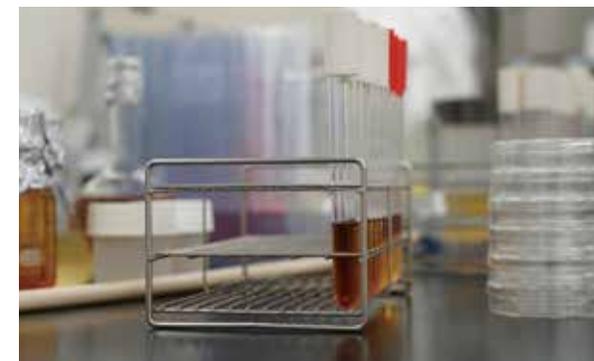
病原性のある細菌やウイルスなどから、市民の健康を守るために、様々な検査を実施しています。

検査内容に応じて「消化器・食品細菌」「呼吸器・環境細菌」「ウイルス・衛生動物」の3つの担当に分かれています。

市内を流通する食品を検査する食品微生物検査や食中毒の原因究明・拡大防止のための食中毒検査、感染症発生動向調査のための市内医療機関等で採取された検体の病原体探索、結核患者管理検診・接触者検診などの結核検査、デング熱やウエストナイル熱等の感染症を媒介する蚊のウイルス検査、市内公衆浴場浴槽水・冷却塔水・

プール水等のレジオネラ属菌等の検査、クモ・アリなどの衛生害虫の種別を判別する有害害虫検査、感染源・感染経路の推定のために病原体の遺伝子を比較する分子疫学解析などの検査を実施しています。

また、より簡便で迅速な検査法の開発や市内での病原体の詳細な動向把握、外部機関との共同研究等、様々な調査研究を行っており、これまでに培ってきた技術と経験を礎に、微生物分野のより高度な研究を目指しています。



食の安全を守る

- 食品微生物検査
- 食中毒検査

感染症対策

- 感染症発生動向調査
- 結核検査
- 感染症媒介蚊のウイルス検査

生活環境を守る

- 浴槽水・採暖槽水・プール水等の検査
- 有害害虫検査

感染源を調べる

- 分子疫学解析

感染症情報センター

最新の感染症情報を 市民や医療機関の皆様に発信しています。

感染症情報センターは、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の的確な提供・公開を目的として、全国の各都道府県・政令指定都市などに設置されています。

川崎市感染症情報センターでは、これらの業務に加え、病原体情報を加えた高度な解析や疫学研究などを実施し、市民や医療機関の皆様に有益な情報を発信しています。

感染症情報発信システム(KIDSS)の運用

感染症情報センターでは、平成 26 年 3 月に川崎市感染症情報発信システム (Kawasaki city Infectious Disease Surveillance System) を導入し、より高度な情報収集・解析・発信を行っています。



感染症情報発信システムの 7つの機能

- ・ 感染症発生動向調査 (NESID) データ公開
- ・ リアルタイムサーベイランス
- ・ 学校・保育園等
欠席者サーベイランス
- ・ 情報共有掲示板 *
- ・ 資料集 *
- ・ 疾患別情報
- ・ 情報配信 *

*セキュリティページのため、登録医療機関のみ利用可能

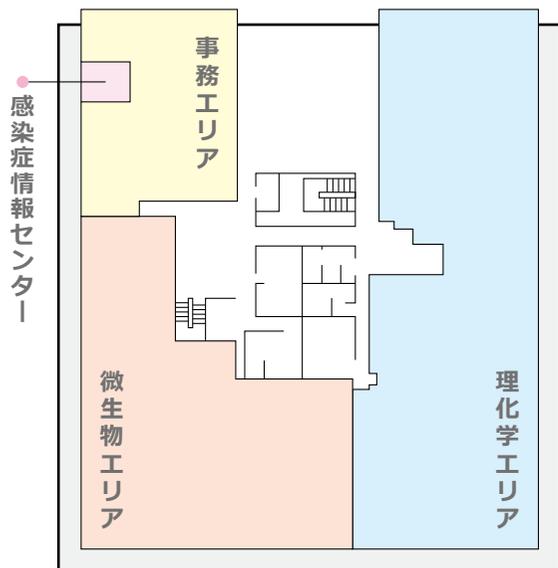


KIDSS
トップページ

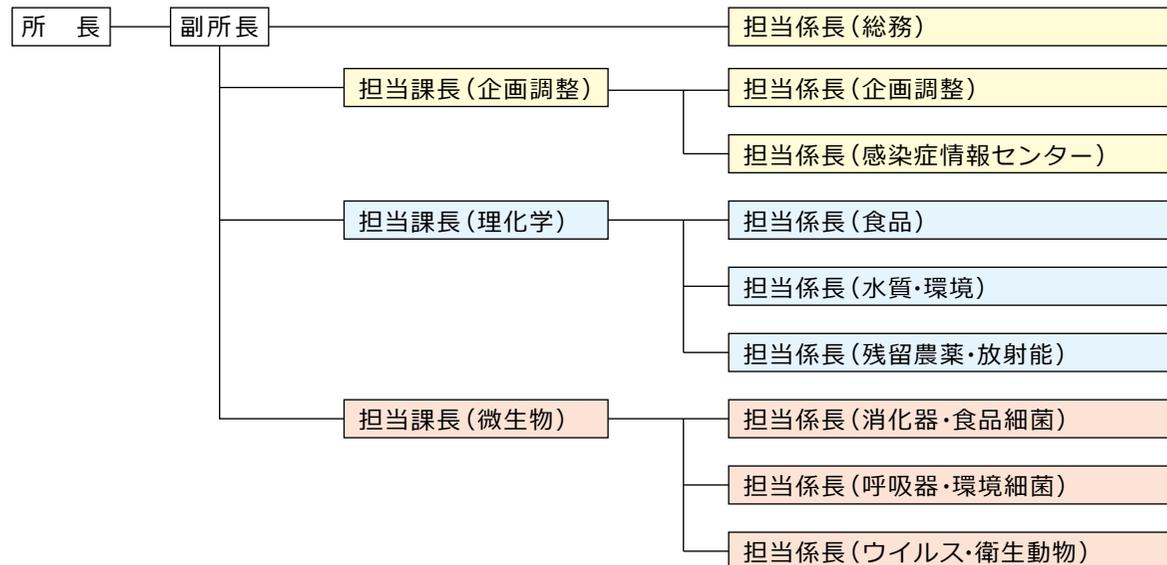


フロアマップ、組織図、アクセス

フロアマップ



組織図



アクセス



〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-13 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 2階
 電話番号：044-276-8250 (代表)

■電車

京浜急行大師線「小島新田駅」から徒歩約15分

■車

- ・首都高速神奈川6号川崎線「殿町IC」から約1分
- ・羽田空港から約11分

■バス

●川崎駅前(東口バスターミナル)から

- 臨港バス 川02 キングスカイフロント東行き「殿町」又は「キングスカイフロント西」下車徒歩約3分
- 臨港バス 川03 浮島バスターミナル行き「キングスカイフロント入口」下車徒歩約4分

●大師橋駅前バス停から

- 臨港バス 大02 ENEOS株式会社浮島前行き「キングスカイフロント入口」下車徒歩約4分
- 臨港バス 大109 天空橋駅行き「殿町」下車徒歩約3分

●羽田空港(第3ターミナル)から

- 臨港バス 空84 大師橋駅前行き「キングスカイフロント西」下車徒歩3分



詳しくはこちら
 川崎市ホームページ



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

